
中央大学大学院

文学研究科 博士後期課程

出題意図・解答又は解答例

2026 年度入試

一般入試

外国人留学生入試

行動する知性。



文学研究科 博士後期課程

「問題」の目次において○印のある科目について掲載しています。

研究科	専攻	課程	科目名	入試方式	2026 年度	ページ
文学	各専攻共通	博士後期	英語	一般入学試験	○	1
文学	各専攻共通	博士後期	ドイツ語	一般入学試験	○	2
文学	各専攻共通	博士後期	フランス語	一般入学試験	○	3
文学	各専攻共通	博士後期	漢文	一般入学試験	○	4
文学	国文学	博士後期	国語学・国文学	一般入学試験	○	5
文学	国文学	博士後期	国語学・国文学	外国人留学生入学試験		
文学	独文学	博士後期	ドイツ語学・ドイツ文学・ドイツ文化学	一般入学試験	○	6
文学	独文学	博士後期	ドイツ語学・ドイツ文学・ドイツ文化学	外国人留学生入学試験		
文学	日本史学	博士後期	古文書解読	一般入学試験	○	7
文学	日本史学	博士後期	日本史	一般入学試験	○	8
文学	日本史学	博士後期	日本史	外国人留学生入学試験		
文学	哲学	博士後期	哲学史	一般入学試験	○	9
文学	哲学	博士後期	哲学史	外国人留学生入学試験		
文学	社会学	博士後期	社会学	一般入学試験	○	10
文学	社会学	博士後期	社会学	外国人留学生入学試験		
文学	社会情報学	博士後期	社会情報学	一般入学試験	○	11
文学	社会情報学	博士後期	社会情報学	外国人留学生入学試験		
文学	心理学	博士後期	心理学	一般入学試験	○	14
文学	心理学	博士後期	心理学	外国人留学生入学試験		

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2 0 2 6 年度入試（ ☐ 秋季 ☒ 春季）
研究科	文学研究科
課程	☐ 博士前期課程 ☒ 博士後期課程
専攻	各専攻共通
入試方式	☒ 一般入試 ☐ 社会人特別入試 ☐ 外国人留学生入試
試験科目	英語（各専攻共通）
出題の意図 解答または解答例	本研究科は、選抜にあたって専門分野の文献を正確に読み取り、自らの見解を直截に文章化する言語能力を有していることを評価基準のひとつとしている。各専攻共通外国語（英語）においては、この基準に基づき出題を行なっている。具体的には、辞書を使いこなしつつ文脈に即して語義を正確に理解し、文法に適った和訳を行う能力を測る。 なお解答例については、著作権許諾処理の問題、および解答の誘導の恐れにより公表できない。

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2 0 2 6 年度入試（ ☐ 秋季 ☒ 春季）
研究科	文学研究科
課程	☐ 博士前期課程 ☒ 博士後期課程
専攻	各専攻共通
入試方式	☒ 一般入試 ☐ 社会人特別入試 ☐ 外国人留学生入試
試験科目	ドイツ語（各専攻共通）
出題の意図 解答または解答例	解答・解答例は、著作物の権利処理の問題により公表できない。但し、出題の意図は以下の通りである。 2 題出題し、2 題解答する。 博士後期課程での研究活動において、ドイツ語は対象言語・メタ言語の双方の機能を持つ。そこで、質的語彙力、統語構造を見抜く力、先行詞と代名詞の照応関係などテキストの結束構造・結束性を理解する力といった基本的な語学力に加え、テキスト外情報（背景知識や基礎的な専門知識）を援用して内容を理解するという総合的な学術ドイツ語読解のストラテジーを身につけているかを確認する。 内容・形式ともに、テキスト種類に応じて訳し分けるだけの理解に達しているかについても、評価の対象とする。

「出題の意図」「解答または解答例」

年度 研究科 課程 専攻	2026年度入試（ ☐ 秋季 ☒ 春季 ） 文学研究科 ☐ 博士前期課程 ☒ 博士後期課程 仏文学専攻
入試方式	☒ 一般入試 ☐ 社会人特別入試 ☐ 外国人留学生入試
試験科目	フランス語（各専攻共通）
出題の意図 解答または解答例	学術的文体のフランス語で書かれた文章を読み、指定された箇所を適切な日本語に訳出する問題である。フランス語の基礎的な文法事項を正しく理解しているか、文章全体の論旨を踏まえた上で指定された箇所の意味を正確に理解し日本語に訳せているかを確認することを目的としている。 解答または解答例は、著作物の権利処理の問題により公表できない。ただし、採点時の観点は以下の通りである。 ・ 指定箇所の原文の内容が正しく理解できているか ・ 文章理解において特に問題となる文法事項（時制、法、代名詞など）を正しく理解した上で訳出できているか ・ 文章全体の論旨を踏まえた適切な訳語を選択できているか ・ 日本語として十分に意味の通る訳文になっているか

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2 0 2 6 年度入試（ ☐ 秋季 ☒ 春季）
研究科	文学研究科
課程	☐ 博士前期課程 ☒ 博士後期課程
専攻	各専攻共通
入試方式	☒ 一般入試 ☐ 社会人特別入試 ☐ 外国人留学生入試
試験科目	漢文
出題の意図 解答または解答例	博士後期課程に求められる漢文の読解能力と古典文法に則った書き下し文を作成する能力を備えているか否かを査定する問題である。古典のテキストを理解するためには注釈を参照することが必要となるが、本文の記述との照応を意識して注釈の内容を正確に理解できるかを重点的に問うている。 解答例は、以下の通りである。 問一 跡継ぎを残さず、その結果、先祖への祭を途絶えさせてしまうこと。 問二 「為」には平声と去声の二通りのアクセントがあるが、ここでは去声で発音するように指示している。「為」は去声で発音すると、「……のために」の意味を表す。 問三 「なほつぐるがごとし」とは、つぐることとおなじきなるをいふなり。けだしけんにしてちう（ちゆう）をうれば、すなはちせいをはなれず。 問四 権は、通常の方法が実行できない場合におこなう臨機応変の処置。朱熹の見解によると、権は道を体得している者でなくては誤りなく用いることができないので、誰でも実行してよいものではない。 問五 息子が結婚しようとするすると邪魔立てするような親。

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2 0 2 6 年度入試（ ☐ 秋季 ☒ 春季）
研究科	文学研究科
課程	☐ 博士前期課程 ☒ 博士後期課程
専攻	国文学専攻
入試方式	☒ 一般入試 ☐ 社会人特別入試 ☒ 外国人留学生入試
試験科目	国語学・国文学
出題の意図 解答または解答例	本試験問題は、すべて国文学・国語学の分野についての知識を問うものとなっているが、その出題形式の性質上、解答や解答例を公表することは適切ではないと判断し、代わりに採点時の観点を以下に示す。 設問 A 国文学史のうち古典文学上の作品・人物・流派等について正しい知識を持っているか。 設問 B 国文学史のうち近現代文学上の作品・人物・流派等について正しい知識を持っているか。 設問 C 国語学のテクニカルターム、国語学史、日本語の言語学的知識等について正しく理解できているか。

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2 0 2 6 年度入試（ ☐ 秋季 ☒ 春季）
研究科	文学研究科
課程	☐ 博士前期課程 ☒ 博士後期課程
専攻	独文学専攻
入試方式	☒ 一般入試 ☐ 社会人特別入試 ☒ 外国人留学生入試
試験科目	ドイツ語学・ドイツ文学・ドイツ文化学
出題の意図	I.について 一定の模範解答を示す形式の出題ではない。
解答または解答例	選択肢から2 題を選び、1 問は日本語で、もう1 問はドイツ語で解答する。論文を執筆するのに相応しい学術的な日本語およびドイツ語を適切に用いて、該当分野で適当とされる論理構成で述べるのが求められる。限られた時間の中でも問題文の題意を正しく読み取り、自身の持つ専門的かつ正確な知識を論理的・明快に文章化できたか、学際的な立場から評価・採点する。ドイツ語圏をフィールドとする博士後期課程の研究活動には必要不可欠な能力である。
	II.について 一定の模範解答を示す形式の出題ではない。
	まず、関連する分野の先行研究リサーチや学界の動向に対する目配りが、どの程度なされているかという観点から評価する。次に、自身の研究内容を正確に理解し研究史の中に正しく位置付けているかについても評価のポイントとする。これまでの研究活動で得た知見を、自身の研究テーマと関わらせながら、的確な表現を用いた論理的な文章構成で述べるのができたかについては、特に重要視する。博士後期課程在学中の研究活動は言うまでもなく、将来的に研究者を目指すという点からも求められる能力である。
	III.について 一定の模範解答を示す形式の出題ではない。
	ドイツ語の設問の意図を正しく理解した上で、限られた時間・分量の中で、学術的なドイツ語の文章を作成する能力を見る。設問で問われた内容を自分自身の研究テーマに近づけながら考えた解答を期待する。専門的な情報を盛り込み、ドイツ語の学術用語を正確に使用しながら論理的に過不足なく述べることを要求する。

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2 0 2 6 年度入試（ ☐ 秋季 ☒ 春季）
研究科	文学研究科
課程	☐ 博士前期課程 ☒ 博士後期課程
専攻	日本史学専攻
入試方式	☒ 一般入試 ☐ 社会人特別入試 ☐ 外国人留学生入試
試験科目	古文書読解
出題の意図 解答または解答例	日本史学・考古学に関する史資料の原文等を読解し、その情報を適切な文章に表現する課題を通して、研究を遂行するのに必要な日本史学・考古学の基礎的な史資料読解能力を測り、各分野に関する高度な専門的知識と、学術的な論述を行うための力を測ることを意図している。 なお、特定の解答に誘導し筆記の内容が画一的になると、筆記試験が意図する知識・思考・能力の把握が困難になることから、解答例（模範解答）は公開しない。

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2 0 2 6 年度入試（ ☐ 秋季 ☒ 春季）
研究科	文学研究科
課程	☐ 博士前期課程 ☒ 博士後期課程
専攻	日本史学専攻
入試方式	☒ 一般入試 ☐ 社会人特別入試 ☒ 外国人留学生入試
試験科目	日本史
出題の意図 解答または解答例	日本史学の専門分野における、主要な歴史概念や分野の研究上の課題についての論述、および日本史学・考古学に関する史資料の読解を通して、歴史学に関する専門的知識と、学術的に論述する力を測ることを意図している。 解答を誘導する恐れがあるため、解答または解答例を公表することはできない。

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2 0 2 6 年度入試（ ☐ 秋季 ☒ 春季）
研究科	文学研究科
課程	☐ 博士前期課程 ☒ 博士後期課程
専攻	哲学専攻
入試方式	☒ 一般入試 ☐ 社会人特別入試 ☒ 外国人留学生入試
試験科目	哲学史
出題の意図 解答または解答例	本問は、哲学史における基本的な語彙・概念および重要な問題について、正確に説明する能力を問う。あわせて、概説や特定の学説を単に暗記するのではなく、それらを踏まえて自らの言葉で批判的に考察し、論点を再構成する能力を有しているかを評価する。また問題意識の明確さ、先行研究への十全な目配り、研究者として自立的に研究を進める基礎的素養を有しているかを確認する。 外国人留学生については、これらに加えて、日本語を用いて高度に思考を表現する運用能力も重要な評価要素とする。 解答を誘導する恐れがあるため、解答または解答例を公表することはできない。

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2 0 2 6 年度入試（ ☐ 秋季 ☒ 春季）
研究科	文学研究科
課程	☐ 博士前期課程 ☒ 博士後期課程
専攻	社会学専攻
入試方式	☒ 一般入試 ☐ 社会人特別入試 ☒ 外国人留学生入試
試験科目	社会学
出題の意図 解答または解答例	問1 本試験は、文学研究科社会学専攻のアドミッション・ポリシーにもとづき、社会学の専門的知識を博く学び、複数の専門的な観点を理解した上で、社会に関する様々な問題を考察する視点を深められるかを問う狙いがある。 設問となった概念はどれも社会学の様々な分野に関わり、多くの社会学者が様々な視点から論じてきた。その概念を論じている社会学者である限りは、どの社会学者を選んでも良い。正確にその社会学者の考えを記述した上で、かつ同じ概念を用いた他の社会学者と深く対比が描けているかが採点基準となる。 問2 本試験は、文学研究科社会学専攻のアドミッション・ポリシーにもとづき、社会学の専門文献の読解を通じて、限られた時間内に正確に理解する能力、および自らの考えを的確に表現する能力を問うことを狙いとしている。 設問1 専門的な文書の内容理解を問う問題である。「近代化」が、「地球のほとんどの部分」にとって、いかなる意味を持ったのかを理解し、的確に整理することを求めている。 設問2 「モダニティ」概念について、専門的な文書に対する批判的思考力を通じて整理することを求める問題である。 設問3 「グローバル／ローカル」という対概念について、基礎的な理解力と批判的思考力を組み合わせ、発想力・構成力・表現力、総合的な論理的思考力を問う問題である。 なおいずれの問題に関しても、解答を誘導する恐れがあるため解答または解答例を公表することはできない。

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2 0 2 6 年度入試（ ☐ 秋季 ☒ 春季）
研究科	文学研究科
課程	☐ 博士前期課程 ☒ 博士後期課程
専攻	社会情報学専攻
入試方式	☒ 一般入試 ☐ 社会人特別入試 ☒ 外国人留学生入試
試験科目	社会情報学
出題の意図 解答または解答例	<基礎理論> 本問題においては、受験者が社会情報学の理論や概念に関する知識を十分有しているか、また、その知識を今日的な現象に応用し、論理的に思考・記述できる能力を有しているかを確認することを目的としている。 採点時の観点は以下の通りである。 ・設問の趣旨を正確に理解し、論理的に適切に解答をおこなっているか ・社会情報学の理論や概念、および先行研究を正確に理解し、今日的な現象に適切に応用し、記述しているか ・論理的思考力、および論理構成力が博士論文執筆にむけた研究活動・論文執筆において十分であるか <メディア・コミュニケーション論> 本問題においては、受験者がメディア・コミュニケーション論に関わる理論や概念についての、十分な知識を有しているかどうか、また実社会における諸現象に関する理解と共に、そうした知識を応用して、論理的に、思考・記述できる能力を有しているかどうかを確認することを目的としている。 採点時の観点は以下の通りである。 第一に、設問の趣旨を正確に把握し、論理的に正確な解答を行っているかどうか。 第二に、メディア・コミュニケーション論に関わる理論や概念についての、十分な知識を有しているかどうか、また実社会における諸現象に関する理解と共に、そうした知識を応用して、論理的に、思考・記述できる能力を有しているかどうか。 第三に、本学大学院に入学後に行う研究や論文の執筆に向けて、とりわけ博士論文の執筆に向けて、十分な論理的思考力や記述力を有しているかどうか。

「出題の意図」 ・ 「解答または解答例」

年度	2 0 2 6 年度入試（ ☐ 秋季 ☒ 春季）
研究科	文学研究科
課程	☐ 博士前期課程 ☒ 博士後期課程
専攻	社会情報学専攻
入試方式	☒ 一般入試 ☐ 社会人特別入試 ☒ 外国人留学生入試
試験科目	社会情報学
出題の意図 解答または解答例	<図書館情報学> 本問題においては、受験者が図書館情報学の理論や概念に関する知識、技術、技能等を十分に有しているか、またそれらを図書館の諸現象にかかると過去、現在、将来に応用し、論理的に思考、記述できる能力を有しているかを確認することを目的としている。 採点時の観点は以下の通りである。 ・ 設問の趣旨を正確に理解し、論理的に適切に解答しているか。 ・ 図書館情報学の理論や概念に関する知識、技術、技能等を正確に理解し、図書館の諸現象にかかると過去、現在、将来に適切に応用し、記述しているか。 ・ 本学大学院に入学後の研究活動や論文執筆に際し、十分な論理的思考力や記述力を有しているか。 <情報システム学> 本問題においては、受験者が情報システム学の知識や理論的枠組みを十分有しており、また、その知識を今日的な現象に応用し、論理的に思考・記述できる能力を有しているかを確認することを目的としている。 採点時の観点は以下の通りである。 ・ 設問の趣旨を正確に理解し、論理的に適切に解答をおこなっているか ・ 情報システム学の理論や概念、および先行研究を正確に理解し、今日的なトピックにおいてその状況を正確に理解したうえで適切に応用し、記述しているか ・ 論理的思考力、および論理構成力が博士論文執筆にむけた研究活動・論文執筆において十分であるか

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度 研究科 課程 専攻	2026年度入試（☐ 秋季 ☒ 春季） 文学研究科 ☐ 博士前期課程 ☒ 博士後期課程 社会情報学専攻
入試方式	☒ 一般入試 ☐ 社会人特別入試 ☒ 外国人留学生入試
試験科目	社会情報学
出題の意図 解答または解答例	<データ分析> 出題意図 本設問は次の2点の確認を目的としている。 ①データ分析に関する、より実践的・応用的な知識を身に着けているか。具体的には、一般的に多用される多変量解析について理解できているか。 ②データの種類や分析方法に応じた、適切なデータの扱いを理解しているか。 採点基準は以下のとおりである。 ①基本的な多変量解析の方法を誤りなく記述できていること ②現実のデータ分析において求められるデータの処理方法を理解し、記述できていること。 データ分析に関する、より実践的・応用的な知識を問うている。具体的には、さまざまな回帰モデルやその前提（回帰診断を含む）、基本的な多変量解析（因子分析、主成分分析、クラスター分析、ロジスティック回帰分析など）についてである。また、統計学やデータ処理の知識だけでなく、現実のデータにそれを適用できることを求めている。 なお、いずれの問題に関しても、解答を誘導する恐れがあるため、解答または解答例を公表することはできない。

「出題の意図」 ・ 「解答または解答例」

年度 研究科 課程 専攻	2026年度入試（ ☐ 秋季 ☒ 春季 ） 文学研究科 ☐ 博士前期課程 ☒ 博士後期課程 心理学専攻
入試方式	☒ 一般入試 ☐ 社会人特別入試 ☒ 外国人留学生入試
試験科目	心理学
出題の意図 解答または解答例	1 本問は、半球機能差と言語・行為の左半球優位、および脳梁による半球間情報伝達の意義を理解しているかを問う問題である。失読や観念運動性失行が「左側で生じる」ように見えるメカニズムを、離断症候群の観点から神経心理学的に説明できるかを評価する。 解答を誘導する恐れがあるため解答または解答例に代えて、評価の観点を以下に示す。 ・ 左右半球の機能差を説明できているか ・ 脳梁の役割を理解しているか ・ 失読・観念運動性失行の神経心理学的機序を述べているか ・ 症候と情報伝達遮断を結びつけているか ・ 論述が正確であるかか 2 本問は、心理学におけるトランスレーショナル・リサーチの課題を、基礎研究から臨床・実践・社会実装への橋渡しという観点から論じられるかを問う問題である。再現可能性、外的妥当性、学際連携、実装上の障壁、倫理的課題などを整理し、現実的解決策を提示できるかをみる。 解答を誘導する恐れがあるため解答または解答例に代えて、評価の観点を以下に示す。 ・ トランスレーショナル・リサーチの概念理解があるか ・ 主要課題を多面的に整理しているか ・ 心理学固有の困難に即しているか ・ 解決策が具体的かつ現実的か ・ 研究と実践の接続を意識しているか

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度 研究科 課程 専攻	2026年度入試（☐ 秋季 ☒ 春季） 文学研究科 ☐ 博士前期課程 ☒ 博士後期課程 心理学専攻
入試方式	☒ 一般入試 ☐ 社会人特別入試 ☒ 外国人留学生入試
試験科目	心理学
出題の意図 解答または解答例	3 本問は、ERPとfMRIという代表的脳機能測定法について、測定対象、時間分解能・空間分解能、長所・短所を比較できるかを問う問題である。電気生理学的測定と血流動態指標の違いを理解し、方法論選択の根拠を説明できるかをみる。 解答を誘導する恐れがあるため解答または解答例に代えて、評価の観点を以下に示す。 ・ERPの測定対象を正確に説明しているか ・fMRIの測定対象を正確に説明しているか ・両者の利点・限界を比較しているか ・時間分解能と空間分解能の対比が明瞭か ・用途に応じた理解が示されているか 4 本問は、介入研究におけるRCTの倫理的課題を理解しているかを問う問題である。対照群が有効介入を受けられないことによる不利益、期待の不公平、症状悪化リスクなどを把握し、待機群、通常治療対照、事後提供、モニタリング強化などの軽減策を論じられるかを評価する。 解答を誘導する恐れがあるため解答または解答例に代えて、評価の観点を以下に示す。 ・対照群の不利益を具体的に説明しているか ・研究倫理の視点があるか ・不利益軽減の方法を複数示しているか ・方法論と倫理の両立を意識しているか ・現実的な研究デザインへの理解があるか

「出題の意図」・「解答または解答例」

年度	2026年度入試（ ☐ 秋季 ☒ 春季）
研究科	文学研究科
課程	☐ 博士前期課程 ☒ 博士後期課程
専攻	心理学専攻
入試方式	☒ 一般入試 ☐ 社会人特別入試 ☒ 外国人留学生入試
試験科目	心理学
出題の意図 解答または解答例	5 本問は、自死のリスク要因を単一原因ではなく多層的・多因子的に理解しているかを問う問題である。精神疾患、既往、自殺念慮、希死念慮、衝動性、喪失体験、社会的孤立、経済的困難、差別、アクセス手段などを、生物・心理・社会モデルや公衆衛生的視点から統合的に説明できるかをみる。 解答を誘導する恐れがあるため解答または解答例に代えて、評価の観点を以下に示す。 ・リスク要因を多角的に整理しているか ・個人要因と社会要因を区別しつつ関連づけているか ・過度に単純化していないか ・保護因子や予防との関係に触れているか ・心理学的支援との接点を示しているか 6 本問は、DSM-5-TRで追加された遷延性悲嘆症について、診断基準の概要を正確に理解するとともに、臨床心理士・公認心理師としてそれをどのように支援実践へ接続するかを説明できるかを問う問題である。通常の悲嘆との区別、病理化の慎重さ、アセスメント、心理教育、支援計画、他職種連携などを含めて論じることが求められる。 解答を誘導する恐れがあるため解答または解答例に代えて、評価の観点を以下に示す。 ・診断基準を正確に述べているか ・通常の悲嘆との違いを理解しているか ・支援への応用を具体的に論じているか ・過度の病理化を避ける視点があるか ・専門職としての役割理解が示されているか